共同映画ニュース

荒木栄～生誕100年記念！　今蘇る働く者の息吹！！！

長編ドキュメンタリー映画

俺たちの歌　～魂の作曲家・荒木栄～

荒木栄とは？

　1960年の歴史的な三井三池闘争を三池炭鉱労働組合の一員として闘い、『がんばろう』『地底の歌』などの作曲家として知られる荒木栄。栄は日本のうたごえ運動の発展にも大きな足跡を残しましたが、あの歴史的な三井三池闘争の2年後、1962年10月26日胃がんのため38歳の若さでこの世を去りました。それは、あたかも彗星のように忽然と現れ、激しく燃え尽きたと表現するのにふさわしい劇的な生涯でした。

　栄は1924年10月14日福岡県大牟田市に生まれます。尋常高等小学校卒業後、三池製作所に就職。独学でハーモニカやヴァイオリンを学び、機械組み立て工として働きながら労働者を励ます歌を多く作曲しました。

　代表作に「がんばろう」「地底の歌」のほか、「この勝利ひびけとどろけ」「沖縄を返せ」などがあります。

作り手たちの想い

製作者から　　**共同映画株式会社　代表取締役　藤野戸護**

今年は荒木栄生誕100年を迎えます。ここで彼の実績と足跡をしっかり記憶にとどめておきましょう。

彼は大牟田市で生まれ、三井鉱山三池製作所で生活の糧を得ていました。しかし、生活環境は劣悪で、どんなに働いても搾取されるばかりであり、労働者は企業の都合でいとも簡単に切り捨てられてしまう存在でした。そこで炭鉱の労働者は、組合に結集して闘いの狼煙をあげ、栄は社会の理不尽に向けた怒りを鼓舞する労働歌「がんばろう」「この勝利ひびけとどろけ」を作曲しました。それらは日本中の炭鉱労働者を力づけたのです。また、沖縄返還闘争を支える歌「沖縄を返せ」も作曲しています。

この度、このような荒木栄の姿を、音楽ドキュメント映画「荒木栄の歌が聞こえる」を完成させた港健二郎監督が再び記録映画制作にチャレンジいたします。ご支援をよろしくお願いいたします。

監督から　　**構成･監督　港健二郎**

荒木栄生誕100年を控えた昨年春から、地元三池で荒木栄と共に闘い、今もなお栄の歌を歌いつづけている皆さんから「ぜひ、映画を作ってほしい」という要請がありました。私は三井三池に生まれ、これまで「労働者作曲家　荒木栄」「荒木栄の歌が聞こえる」（第27回日本映画復興会議奨励賞受賞）などを作り、「荒木栄」をライフワークとしてきました。今回はその集大成であり、三井闘争という巨大な舞台を背景として、優れた労働作曲家へと成長した栄の人柄や創造の秘密を、生前の栄をよく知る人々や志をうけつぐ方の証言を集め、その人間像を描き出します。また、栄と共にうたごえ運動に人生をかけた人々や、闘うすべての労働者の素晴らしい人間性を高らかに歌い上げるドキュメンタリー映画にする所存です。ぜひ、皆様のお力添えを頂き完成させたいと強く思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

皆様へご支援のお願い

映画制作にあたりまして、制作協力をお願いいたします。

ご協力頂いた方には、全国共通の映画鑑賞券をお送りいたします。

ご協力頂いた資金は、全国公開に向けての宣伝物作成費、劇場公開の際の保証料などに使用し、プロデュース料・監督料は配給収入にて調達予定です。

振込先　ゆうちょ銀行　記号　0180　4　番号　7415

　加入者氏名　　共同映画株式会社

お問い合わせ

共同映画株式会社　　Tel　03-6434-9346

港健二郎　　Tel　090-9332-6387